

日本海学 シンポジウム

「いま日本海で起こっていること」

平成30年2月17日(土)
13:30～16:30

入場無料

北日本新聞ホール
(富山市安住町2-14)

基調報告

「世界の海洋環境と日本海」

講師：レヴ・ネレティン (NOWPAP地域調整部 調整官)

基調講演

「日本海とはどんな海」

講師：蒲生 俊敬 (東京大学大気海洋研究所 名誉教授)

パネルディスカッション

「日本海のものぞき窓 — 富山湾の保全と活用 —」

モデレーター：秋道 智彌 (山梨県立富士山世界遺産センター 所長、日本海学推進機構 会長)

パネリスト：蒲生 俊敬 (東京大学大気海洋研究所 名誉教授)

秦野 るり子 (富山国際大学現代社会学部 教授)

吉田 尚郁 (環日本海環境協力センター 主任研究員)



2014年10月、富山湾の「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟が承認されました。

「世界で最も美しい湾クラブ」とは…

ユネスコが支援する非政府組織 (NGO) で、世界遺産のフランス・モンサンミッシェル湾、ベトナム・ハロン湾など、世界の選ばれた41湾 (24カ国・1地域) が加盟し、湾を活用した観光振興と資源の保全を目的に活動しています。(1997年設立)

主催／富山県・日本海学推進機構

後援／北日本新聞社

日本海学 シンポジウム

「いま日本海で起きていること」

平成30年 **2月17日** ⊕
13:30 ~ 16:30

入場無料

北日本新聞ホール
(富山市安住町2-14)



※なるべく公共交通機関をご利用ください。
※富山駅より徒歩10分、または市内電車「県庁前」電停より徒歩1分

お問い合わせ・お申し込み

氏名、住所、郵便番号、電話番号を明示のうえ、ハガキ、電話、FAX
またはE-mailで下記へお申し込みください。

日本海学推進機構

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 (富山県観光振興室内)
TEL 076-444-3339 / FAX 076-444-4404
E-mail adm@nihonkaigaku.org

日本海学とは

日本海とその周辺および関係地域全体を、生命の源である海を共有する一つのまとまりとしてとらえ、海との関わりを軸にその自然・文化・歴史・経済などを総合的に研究し、新たな領域を創成するとともに、地域間の交流を促進し生命の輝きが増す未来を構想する取り組みです。

ホームページ▶ <http://www.nihonkaigaku.org/>

基調報告 13:40 ~ 14:10

世界の海洋環境と日本海

講師: **レヴ・ネレティン** Lev Neretin (NOWPAP地域調整部 調整官)

ロシア生まれ。モスクワ大学海洋学、ロシア科学アカデミー博士課程修了。環境科学、政策決定、管理分野において15年以上の経験。国連環境計画(UNEP)、国連開発計画(UNDP)、地球環境ファシリティ(GEF)などにおける各国政府との調整などを含む環境・開発プロジェクトの指揮・管理及び国連、多国籍環境協定、開発銀行、政策決定議会、学会などの専門家の国際ネットワーク構築。2016年より現職。



基調講演 14:10 ~ 15:00

日本海とはどんな海

講師: **蒲生 俊敬** (東京大学大気海洋研究所 名誉教授)

長野県生まれ。東京大学理学部化学科卒業、同大学院理学系研究科化学専攻博士課程修了(理学博士)。東京大学海洋研究所助手、同助教授、北海道大学大学院理学研究科教授、東京大学大気海洋研究所教授、東京大学海洋アライアンス副機構長を経て2017年より現職。専門は化学海洋学。海洋中に溶存する気体成分等を用いた海洋の深層循環や海底熱水活動に関する研究により、日本地球化学会賞・日本海洋学会賞・文部科学大臣表彰 科学技術賞・地球化学研究協会学術賞・海洋立国推進功労者表彰(内閣総理大臣賞)など表彰多数。著書に『日本海学の世紀6 海のか』(角川学芸出版)、『海洋地球化学』(講談社)、『日本海 その深層で起きていること』(講談社ブルーバックス)など多数。



パネルディスカッション 15:15 ~ 16:30

日本海のものぞき窓 — 富山湾の保全と活用 —

モデレーター: **秋道 智彌** (山梨県立富士山世界遺産センター 所長)

京都府生まれ。京都大学理学部動物学科卒業、東京大学大学院理学系研究科人類学専攻博士課程修了。理学博士。国立民族学博物館民族文化研究部長、総合地球環境学研究所教授、副所長、研究推進戦略センター長、総合地球環境学研究所名誉教授を経て現職。現在、日本海学推進機構会長。専門は、生態人類学。地域に根ざした文化から地球規模の環境問題まで、多角的な視点から自然と人間のかかわりについて調査・研究している。近著としては、『人と魚の文明論』(臨川書店)、『食の探検』(昭和堂)、『サンゴ礁に生きる海人』(榕樹書林)、『越境する commons』(臨川書店)ほか多数。



パネリスト: **蒲生 俊敬** (東京大学大気海洋研究所 名誉教授)

パネリスト: **秦野るり子** (富山国際大学現代社会学部 教授)

東京都生まれ。東京外国語大学外国語学部卒。米コロンビア大学ジャーナリズム大学院モービルフェロー、米イースト・ウエストセンター・ジェフソンフェロー。読売新聞社フジシントン特派員、ジャカルタ支局長、ローマ支局長、調査研究本部主任研究員などを経て2016年より現職。専門は国際政治、マスコミュニケーション。東京女子大学非常勤講師、米カリフォルニア大学パークレー校ジャーナリズム大学院客員教授など歴任。著書に『パチカン』(中央公論新社)など多数。



パネリスト: **吉田 尚郁** ((公財)環日本海環境協力センター(NPEC) 主任研究員)

福岡県生まれ。東京大学大学院博士課程修了(農学博士)。専門分野は水産海洋学、海洋環境保全学。北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)の特殊モニタリング・沿岸環境評価地域活動センターの職員として、日本海の赤潮や海洋生物多様性、海洋ごみの問題に関する国際連携活動に関わるほか、国内日本海側の関係機関と協力して海岸の生物やスナガニの共同調査を実施している。2015年からは、環境省環境研究総合推進費S-13プロジェクトの、チームリーダーとして日本海の海域管理手法の開発に取り組んでいる。



日本海学シンポジウム 参加申込書 (FAX、郵便でお申し込みの場合にご利用ください。) **FAX 076-444-4404**

ふりがな 氏名	代表者 住所
ふりがな 氏名	
ふりがな 氏名	電話

※ 聴講券は配布いたしませんので、申し込まれた方は当日直接会場にお越しください。